

## 彩り豊かな「春」を目指して

「彩」をテーマに掲げ、生徒の手で創り上げる附中祭「春」が目前に迫ってきました。コロナ禍が明け、3年目となる今年の「春」。今年も昼食をはさんだ一日日程で開催します。全ての生徒は、個人種目と学年種目、学年別の学級対抗全員リレー、そして創作演技に出場します。限られた時間での練習ですが、白・赤・青・黄団、どの団の生徒も勝利を目指して真剣に取り組んでおり、学校全体に活気がみなぎっています。

7日に配付した水色のプログラムと別紙「御案内」でもお知らせしていますが、附中祭「春」は、263名の生徒で附中祭実行部を組織し、企画・運営する、「生徒が創る行事」です。係以外の生徒も、応援や創作演技等でそれぞれの役割を担い、全校生徒が心を一つにして、この行事の成功を目指しています。

中でも、創作演技は、附中独自の伝統的なプログラムで、毎年、格別に力が入る取組です。今年は、テーマ「彩」を表現する集団演技を創作するために、各団の3年生が中心となって、4月当初から何度も話し合いや練習を重ねてきました。1、2年生も、3年生の熱心な指導に覚えようと練習を頑張っています。各団、様々に工夫を凝らした創作演技の完成が楽しみです。

学年種目では、1年生が、コロナ禍前に「バーゲンセール」という名前で行っていた「タイヤ争奪戦」を復活させます。2年生は縄を使った新しい競技に挑戦します。3年生は、1年生から続けている長縄で新記録の樹立を目指します。どの学年種目もチームワークが鍵となります。

7日(水)の総練習では、推進部が全体の進行を務めながら、競技運営に関わる運営部の連携を確認したり、創作演技のリハーサルを実施したりしました。練習中は、各係のリーダーが部員に指示を出しながら仕事を進めたり、生徒会長や各団の団長、副団長が不十分な点を熱く語りかけたりする姿が多く見られました。

附中祭「春」当日は、430名一人一人が、競技に、運営に、応援に、それぞれの立場で全力を尽くし、自分の良さを輝かせる、彩り豊かな一日となるにちがいありません。



## 附中祭「春」の態度決定について(お知らせ)

1 当日の開催について、ホームページに「開催予定」と表示されている場合は、計画どおり開催します。悪天候でないことが明確な場合は、安心安全メールでの連絡はしません。 <https://www.jhs.edu.nagasaki-u.ac.jp/>

2 前日までに、「延期する」又は「開催形態を変更する(短縮開催又は登校時刻の変更等)」ことが決定した場合は、10日(土)昼頃までに、安心安全メールで各家庭に連絡するとともに、ホームページに掲載します。

3 前日までに判断できない状況の場合は、当日朝6時に態度決定を行います。「開催形態を変更する」、「計画どおり開催」のいずれの場合でも、安心安全メールで連絡するとともに、ホームページに掲載します。6時15分までは自宅に待機し、連絡を確認してください。なお、6時以前に自宅を出発せざるを得ない場合は、事前に学級担任に申し出てください。



## 入賞おめでとう

部活動の成績や、学校を通して出品した作品等に係る表彰について御紹介します。

【ソフトテニス】長崎市中学生春季選手権大会（5月5日・かきどまり庭球場）

男子ダブルス 第3位 松尾蓮斗・岩崎葉瞬

## 「温かい集団をつくる」本校の取組について

去る4月25日（金）に開催しました育友会総会において、少しお時間をいただき、「温かい集団をつくる」本校の学校経営方針等についてお話ししました。

その際に提示したスライド（説明付）と令和7年5月1日に改訂した本校の「いじめ防止基本方針」を本校のホームページ「在校生・保護者の方へ」に掲載しておりますので、御一読いただきますようお願いいたします。

令和7年度育友会総会

令和7年4月25日（金）



長崎大学教育学部附属中学校

掲載ページURL <https://www.jhs.edu.nagasaki-u.ac.jp/students/>